

# 情報 FUKUOKA 第108号



# トライ



発行者

九州旅客鉄道労働組合  
福岡地方本部

発行責任者 岩永 康志  
編集責任者 森永 克章

北九州市小倉北区室町3-137-1  
NTT (093) 583-3385  
JR (091) 4307~4308

## 今後5年間の目標を策定

### 新中期労働政策ビジョン学習会を開催

福岡地本では、9月10日福岡センタービルにおいて支部と分会3役を対象に新中期労働政策ビジョンの学習会を開催した。学習会に先立ち許斐中央執行委員長があいさつを行い、続く学習会では原川中央執行委員と住吉中央執行委員が新ビジョン策定プロジェクトが作成し本部定期大会で承認された新中期労働政策ビジョンチャレンジ2018を中心に説明を行った。

チャレンジ2018では今後5年間の到達目標と、株式上場を展望した目標として①安全の確立に向けて労働組合として意見を随時集約し適宜指摘を行っていく。②事業収支の安定化に向けた提言を行っていく。③JR九州を取り巻く諸課題解決と中期産業政策の達成に向けて経営支援策の恒久化又は、基本スキームの見直しにむけJR連合及び、関係職員団、地方自治体と一体となった取り組みを行っていく。④ゆとり豊かさを基軸とした中期労働政策の実現に向けてすべての組合員がゆとりある生活運営を行うために、生活運営と密接に関係している企業福祉を充実させ、より良いワークライフバランスの実現に向けて会社と協議を行っていく。⑤賃金水準の中期目標達成と安心して働くことのできる雇用制度の充実に向けて、目標賃金の達成、個別課題の解消、安心して働くことのできる雇用のあり方を会社と協議を行っていく。以上5点を中心に具体的な目標が設定されています。



## 第一次総対話集会開催中

10月1日〜10月23日までの期間中、本部主催で第一次総対話集会が開催されます。みなさんの意見を組合の運営等に反映させるいい機会です。総対話集会に積極的に参加し、みんなが集会を盛り上げていきましょう。多くの参加をお待ちしています。



## 福岡地方本部 今月の支部

福岡地方本部で新たに結成された各支部を紹介していきます。

### 小倉工場支部

○支部長 向野 貴司 (業務管理課分会)  
○所属分会 (7分会)  
本場分会・品質管理課分会・業務管理課分会  
第一営業所分会・第二営業所分会・第三営業所分会  
出向者分会  
○支部の特色  
現在、職場名が「小倉工場」から「小倉総合車両センター」に変わりましたが、旧支部時代の「小倉工場」の名称を地区協議会になってからも使い続けて、昨年からの新たな「小倉工場支部」として発足しました。  
組織数260名のうち、半数を出向組合員が占め、退職により減り続けていた組合員数も、再雇用制度の確立で少し歯止めが掛かってきたところです。  
○支部体制になって変わったこと  
新支部体制になって1年が経過し、以前の地区協議会時代と大きな変化はありませんが、役員の高齢化に伴い世代交代を見据えた役員育成が急務な課題になっています。  
○今後の抱負  
昨年のクルーズトレイン「ななつ星」に続き、今年度も新たな観光列車や、現行の観光列車の増備車工事等がありますが、働きやすい労働条件、労働環境づくりに向け、組合員の結束を図りながら活動を進めていきたいと思ひます。

## 活動紹介

直方運輸センター乗務員会では、これまで嘱託で残る方を除く退職者と出向者の最後の乗務の際に、乗務員会でお出迎えを行い花束や記念品贈呈、参加者による記念撮影等の取り組みを行っています。記念品は随時撮りためていた写真等で記念アルバムを作成し贈呈しています。

主任運転士がJR九州メンテナンランスへ出向となり、お出迎えを行った際の写真です。今回はご家族の方もお招きと一緒に撮影を行いました。

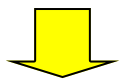


## 嘱託再雇用組合員の組合費改定

これまで各種大会や委員会、総対話集会等で声が上がっていた嘱託再雇用組合員の組合費が改定されました。8月分の給与分から変更になっていきますので確認をお願いします。



【改定前】  
基本給 × 10/1,000  
+ 1,000



【改定後】  
基本給 × 10/1,000

## 委員長のつぶやき

2025年には団塊の世代全員が75歳以上の超高齢社会となる。今後、喫緊の課題となるだろう医療や介護のあり方について、様々な議論がなされるに違いない。こうした中、医療費軽減に資する、私たちに出来ることはと云えば、健康寿命の延伸しかないのではないだろうか。▼健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいう。▼不規則な勤務形態で働く私たちに、改善を意図した食事や適度な運動を実施していくことが重要である。生活習慣病といわれる疾患に発展させない意識と生活行動の積極的な改善が求められる。▼ふだんから体を動かすことが最も大切だ。定期的な一定の運動をすることにより、消費エネルギーが増えて身体機能が活性化するため、糖や脂質の代謝が活発となり、内臓脂肪の減少が期待される。その結果、血糖値や脂質異常、血圧の改善により生活習慣病等の予防につながる。これらが相まって、健康寿命の延伸にも効果的であることがわかってきている。▼例えば、同じ歩くのでも、歩幅を上げ、腰から動かすようにすると、運動強度が高まる。また、階段を昇るときも腿を高く上げ、一段飛ばしで昇るなど、できるだけ大きな動作を心掛けることが効果的だ。▼大きな筋肉を鍛えると、じつとしているときもエネルギー消費が高まる。年齢とともに低下していく基礎代謝量を維持することが内臓脂肪をためないコツなのだ。